

サムスプリントの使用例



1. 頸椎固定:首周りにゆるく巻いてから成形する。
2. 脱臼:手首や前腕部にはC型に成形して当てる。
3. 上腕:J字に成形して肘から当てる。
4. 足首:U字に成形して足裏より両脚に当てる。
5. 脚や膝:スプリントを2枚使用して両脚に当てる。

- ・軽く強くソフトな感覚
- ・ハサミで任意のサイズにカット
- ・装着したままX線撮影可能
- ・CT/MRIにも対応



製品番号	SAM1121	SAM1410	SAM1191	SAM1213
製品名	サムスプリント スタンダード (ロール)	サムスプリント ジュニア	サムスプリント ラージ	サムスプリント フィンガー 10枚入
サイズ	L914×W108×D5mm	L460×W108×D5mm	L914×W140×D5mm	L95×W46×D5mm
パッケージ	Φ90×W108mm	L230×W108×D12mm	L230×W140×D23mm	L95×W46×D59mm
重さ	130g	70g	165g	50g(10枚)

製造販売届出番号: 13B3X00138000005

製造販売届出番号: 13B3X00138000006

使用上の注意

サムスプリントは、軽量なアルミ合金の両面にポリウレタンフォームを貼り合わせて作られています。ハサミで適切な長さにカットすることができますが、カット面にアルミの断面が露出すると危険です。カットした際は、図のように切断面を折り曲げるか、テープ等で覆ってください。サムスプリントを再使用する場合は、使用後直ちに中性洗剤で手洗いし、よく乾燥させてから保管してください。



はさみでカットする。



切断面を折り曲げる。



アコードインターナショナル株式会社

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨1-14-5 3F
TEL 03-5810-1735 FAX 03-5810-1736

www.accord-intl.com

製造販売業許可番号: 13B3X00138

製造業者
SAM
MEDICALサムメディカルプロダクツ社
(米国・オレゴン州)

サム・シェインバーグは、ベトナムの外傷外科医として、また後に、険しいオレゴン・コーストで最初の整形外科医として、スプリントが必要となるような遠隔地の環境について学んだ。

サムは、1960年代から1970年代にかけてのスプリントが、ひどく不十分であることに気づいた。針金と厚紙、そして簡単に穴が開いてしまう空気室からなるかさばる構造物は、再利用できず、決して創傷部にフィットしない。野戦衛生兵は、負傷した手足にポールや枝（あるいはライフルの一部）を縛り付けるなど、昔ながらの技術で代用することが多かった。

帰国後、サムはこの問題について数年間考え続けた。軽量で堅牢、信頼性が高く、再利用可能なスプリントを作ることはできないのか？ある24時間の手術シフトの後、サムはぼんやりとテレビを見ながらガムを噛んでいた。彼はガムの包み紙のホイルをバンド状に折って小指に巻きつけて遊んでいた。通常の状態では薄っぺらなホイルだが、「U」の字に曲げるとかなり強くなることに彼は気づいた。同じようなものでスプリントが作れるだろうか？

翌日、サムはもっと大きなアルミニウムを手に入れ、このアイデアを実行に移した。薄くて柔らかいアルミニウムのシートは、曲げると驚くほど硬くなる。適切なパディング材（緩衝材）を使用すれば、素晴らしいスプリントになることをサムは悟った。

好奇心を満たしたサムは、このプロジェクトをやめようとした。しかし、妻のシェリーがそれを許さなかった。後にサムは「人生で最も幸運だった10分間の口うるささ」と呼んだ。

シェリーはサムがこの製品を世に出すことを承諾するまで彼を追い詰めた。

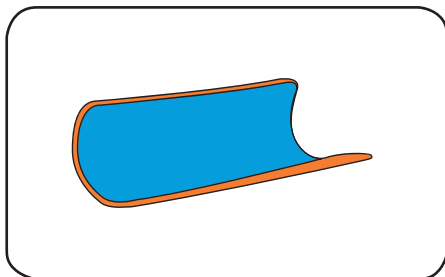
何年にもわたる綿密な実験の後、1985年、サムとシェリーは最初のSAM® スプリントを販売した。今日、SAM®スプリントは世界で最も人気のある救急用スプリントであり、救急隊員だけでなく、軍隊、アスレチックトレーナー、アウトドア冒険家にも愛用されている。

アウトワード・サウンド社の『ウィルダネス救急ハンドブック』の言葉を引用すれば、「背中に背負う価値のある唯一のスプリントである」

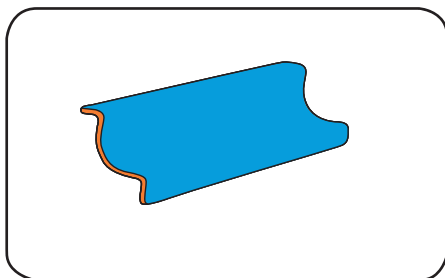
SAM®スプリントは、SAMメディカル・プロダクトの哲学を反映した製品です。もし何かを作るのであれば、ただ良いものを作るのではなく、現在手に入るどんなものよりも優れたものを作ること。SAM®スプリントのように、その分野で新たな「ゴールド・スタンダード」となるようなものを。

スプリント強度アップ

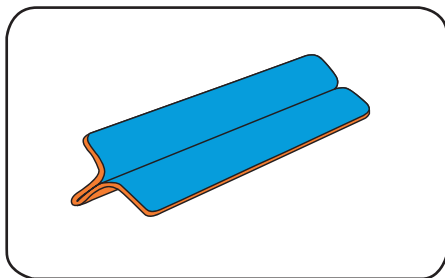
SAMスプリントは曲げることで強度が増します。

**1 Cカーブ(強く)**

フラットの面をC字型のカーブに成形することで強度が増します。

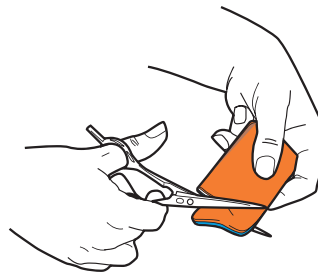
**2 逆Cカーブ(更に強く)**

Cカーブの両端を反対側に向けると更に強度が増します。

**3 Tカーブ(更にもっと強く)**

T字あるいは二重に折ると、より一層強度が増します。

カットして使用



ハサミでカットする。

SAMスプリントはアルミ合金の両面にウレタンフォームを貼り合せて作られています。

ハサミで好みの長さにカットすることができますが、カット面にアルミの先端が出ていますと危険です。

カットした時は右図のように折り曲げたり、テープ等でカット面を覆ってください。

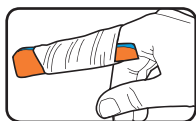


切断面を折り曲げる。

手入れ

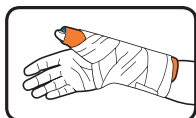
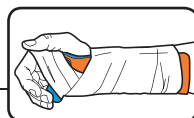


サムスプリントは再使用できます。
使用後直ちに中性洗剤で手洗いし、よく乾燥させてから保管してください。



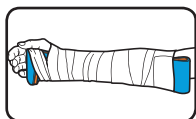
指 P7

手首 P8



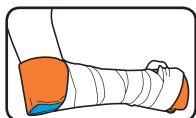
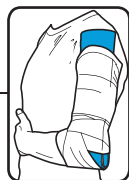
親指 P9

手(尺側) P10



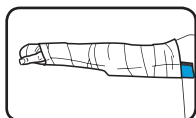
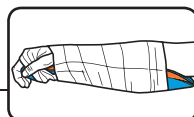
手(尺側ダブル) P11

上腕 P12



前腕(シュガートング) P13-14

手首(尺側T字型) P15-16

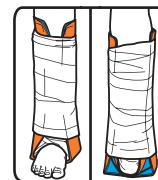


脱臼(肘) P17-18



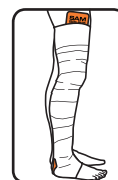
頸椎カラー P19-20

足首 P21



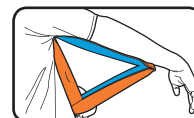
足首(8字型スプリント) P22

かかと(コンボ8字型スプリント) ... P23



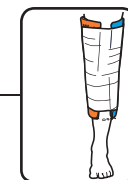
上腿 P24

下肢用(ダブルスプリント) ... P25



脱臼(肩関節) P26

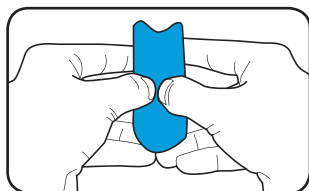
膝関節 P27-28



SAM1213 フィンガー

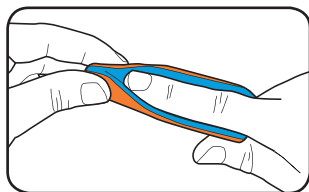


1



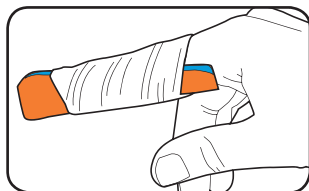
スプリントをCカーブに成形します。

2



Cカーブに指を添えて、スプリントの先を絞ります。

3

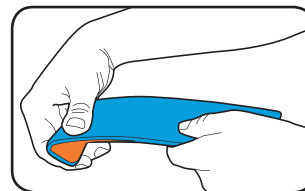


包帯等で指先を固定します。

SAM1410 ジュニア

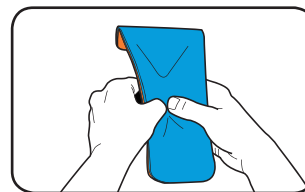
* サムスプリントを半分にカットするか、折って使用する。

1



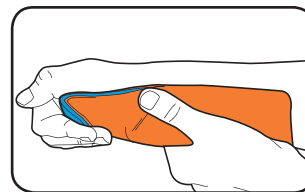
スプリントを図のように折ります。(子供用は半分にします。)

2



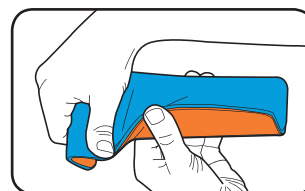
Cカーブを作ります。

3



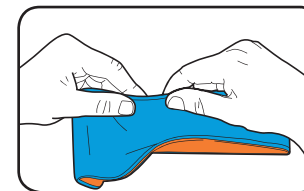
救助者の手首を使ってスプリントを成形します。

4



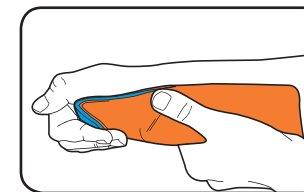
指の付け根には十分な余裕を持たせます。

5



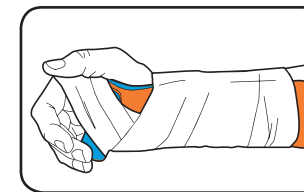
尺側を折りスプリントを補強します。

6



患部に当てます。

7



必要に応じて調整し、包帯等で固定します。

SAM1410 ジュニア

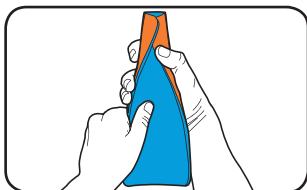
*サムスプリントを半分に
カットするか、折って使用する。

1



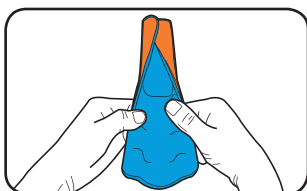
スプリントの半分を
手の親指と手首にあて、
親指の形状と合わせます。

2



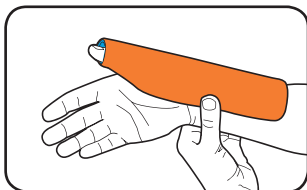
親指の付け根に十分な余裕を
持たせてください。

3



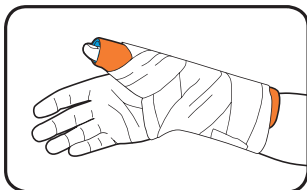
更に強さが必要なならスプリント
の端を逆Cカーブにしてくだ
さい。

4



スプリントを患部にあて、
調整します。

5

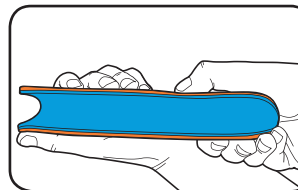


包帯でしっかりスプリントを
固定してください。

SAM1410 ジュニア

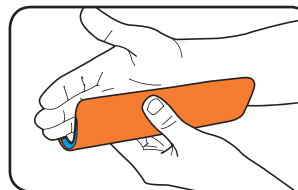
*サムスプリントを半分に
カットするか、折って使用する。

1



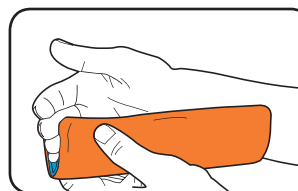
スプリント半分を
長辺に沿って曲げます。

2



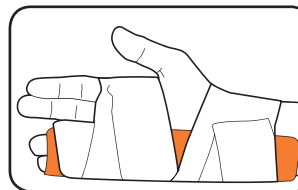
スプリントを尺側と手首に当て、
スプリントが手、手首に
フィットするようにします。

3



スプリントを患部に当てます。

4



スプリントを手、手首にフィット
するように合わせます。
テープや包帯で固定します。

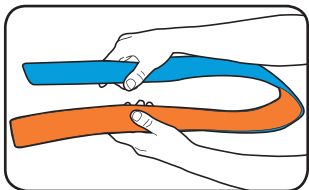
11

手首(尺側ダブル)

SAM
SPLINT

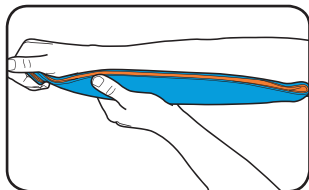
SAM1121 スタンダード

1



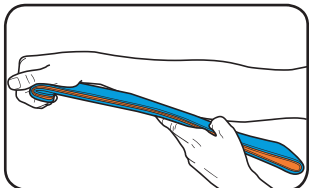
スプリントを半分に折ります。

4



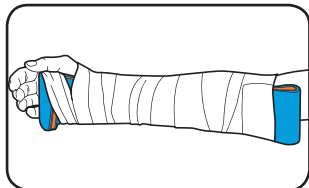
左右どちらかの腕に
スプリントを当て、手首、
前腕に合わせて成形します。

2



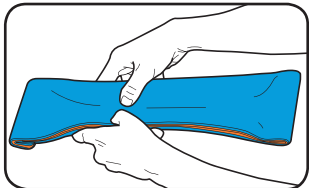
スプリントの先を曲げて
指に合わせます。

5



スプリントを患部に
合わせて微調整をします。
包帯等で固定します。

3



Cカーブを作ります。

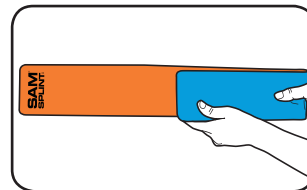
12

手首(上腕)

SAM
SPLINT

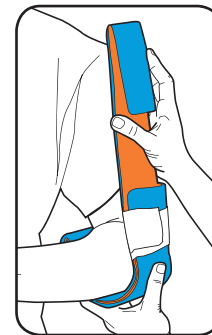
SAM1121 スタンダード

1



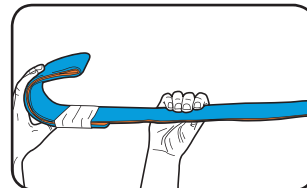
スプリントを約30cm折り、
長い部分に重ねます。

4



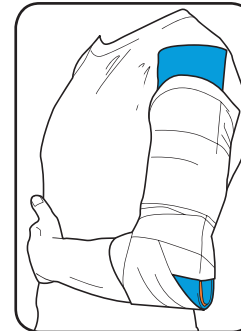
スプリントを患部に
当てます。傷病者の肩や
背中に合わせて余分な
部分を折ります。

2



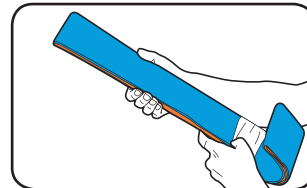
2重部分をU字型にし、
包帯で固定します。

5



テープや包帯でスプリントを
上腕に固定します。

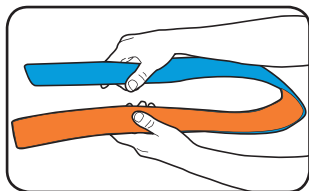
3



U字型上部のスプリントに
Cカーブを作り、スプリント
を補強します。

SAM1121 スタンダード

1



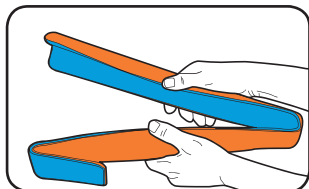
スプリントを半分に折り曲げます。

2



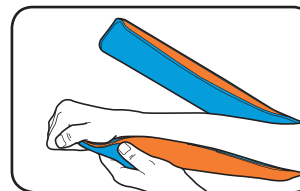
傷病者の腕にスプリントを当て、適切な長さになるよう位置決めをします。肘付近でスプリントを折りたたみ、スプリントの上部の端が手のくるぶしで止まるようにします。

3



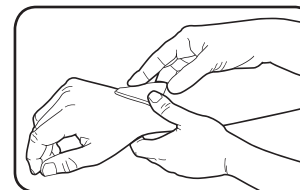
各部の半分にCカーブを作ります。Cカーブは全体の2/3を超えないようにして下さい。カーブを半分より下に延ばすと、肘に当てるスプリントを折るのが困難になります。

4



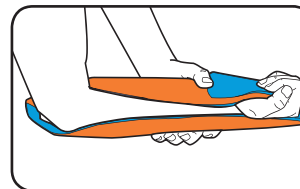
スプリントが腕にフィットするように成形します。

5



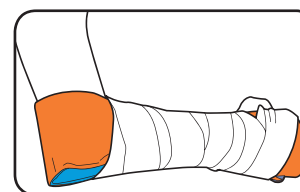
手首や肘の周りの突起している箇所にパッドを当ててください。

6



スプリントを患部に装着します。

7

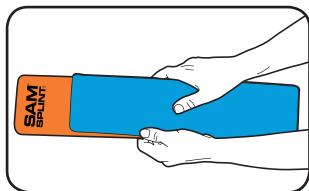


スプリントを包帯で固定します。

SAM1121 スタダード

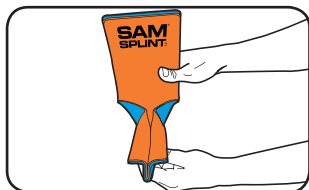
スプリントをT型に折ることで強度を高め、傷病部位を守ります。

1



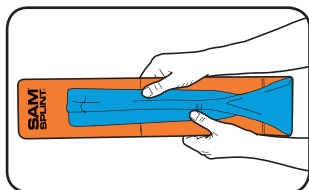
スプリントの一方の端を
10cm残して折ります。

2



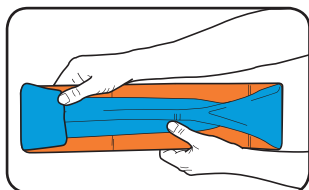
短い方のスプリントに
Tカーブを作ります。

3



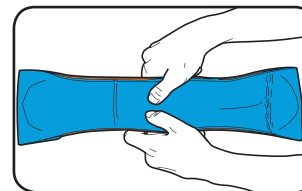
長い方のスプリントにTカーブ
を被せます。

4



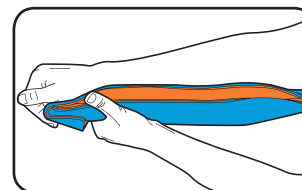
長いスプリントの先端部分をT
カーブに被せ、テープで固定し
ます。

5



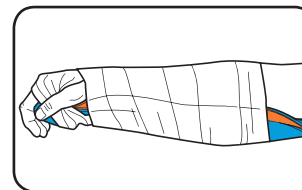
スプリントの平らな面に
Cカーブを作ります。

6



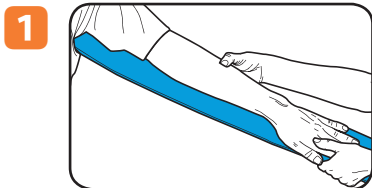
スプリントを手首と上腕に
合わせます。

7

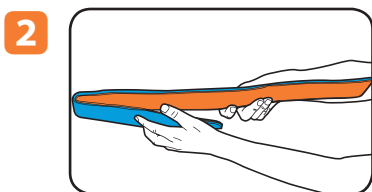


患部にスプリントを
当て、包帯で固定します。

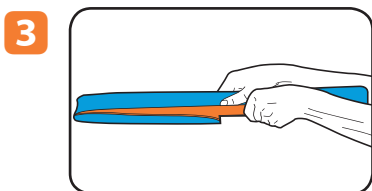
SAM1121 スタンドード



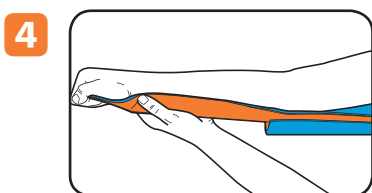
1 傷病者の患部以外の腕を使って、傷病者の脇の下から指の関節までスプリントを伸ばします。



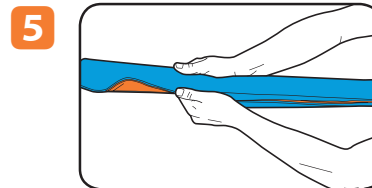
2 手首より先に伸びたスプリントを折りたたみます。



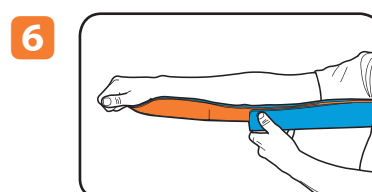
3 スプリント全体にCカーブを作ります。



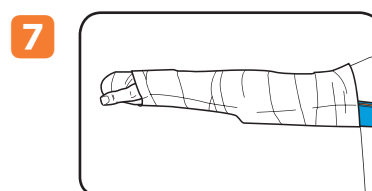
4 救助者のどちらかの腕を使って、スプリントがフィットするように形を整えます。



5 スプリントのエッジに逆Cカーブをつくることで、強度を高めることができます。



6 スプリントを傷病者に装着します。

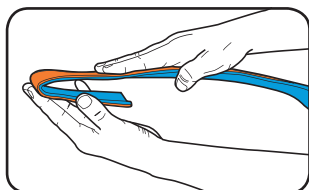


7 テープや包帯で固定します。

SAM1121 スタンダード

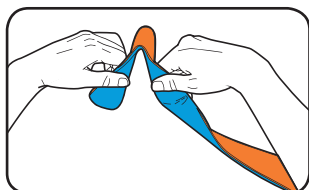
頸椎専用の固定具がない場合には、スプリントで頸椎カラーを作ることができます。

1



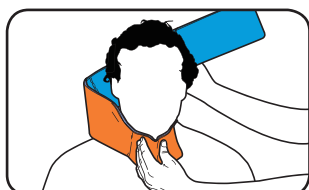
スプリントの端から約15cmのところで折り曲げます。

2



折り曲げたスプリントの両側に親指を添え、上辺を手前に引いて「V」字型に成形してあご当てを作ります。

3



あご当てを傷病者のあごと下あごの下に置きます。首の前面を圧迫しないように注意して、スプリントの残りの部分を首にゆるく巻きつけます。

4



スプリントの端が、胸に達するように斜め方向に倒します。こうしてあごから胸までの正しい位置を決定します。

5



あごを支え続けながら、胸部にあるスプリントを元のあご当ての周りに持っていき、頸椎カラーを作ります。スプリントを絞り頸椎カラーを深く成形します。

6



輪になったスプリントの両側に人差し指を入れて外側に引いてください

7



次に、外側に引いたスプリントが緩みなくフィットするよう形を整えます。

8



傷病者が座っている場合は、同様の方法で後部を成形することができます。

9



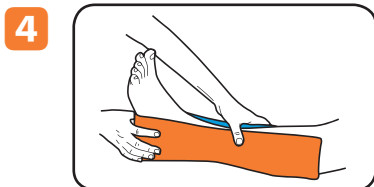
余分なスプリントを折りたたみ、テープや包帯で固定してください。

SAM1121 スタンダード

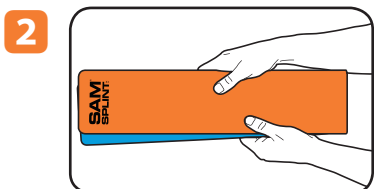
負傷した足で悪路を歩かなければならない場合は、靴は脱がないままの方がよいでしょう。



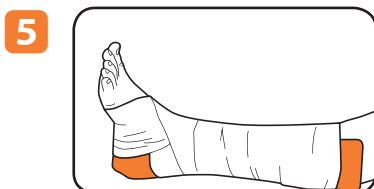
足首が露出している場合は、くるぶし突起部とその周辺にパッドを当てます。



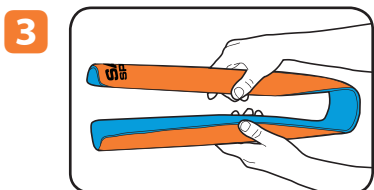
足と足首の周りにスプリントを当てます。



スプリントを半分に折ります。



テープもしくは包帯で固定します。



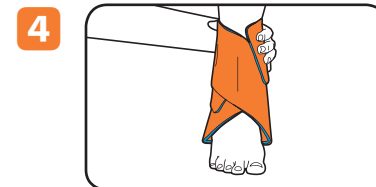
半分に折ったそれぞれの先端部2/3にCカーブを作ります。更に強化する場合は、先端に逆Cカーブを作ります。

SAM1121 スタンダード

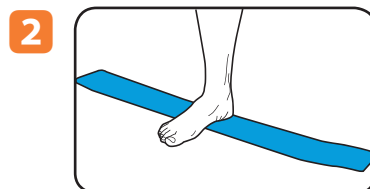
負傷した足で悪路を歩かなければならない場合は、靴は脱がないままの方がよいでしょう。



足首が露出している場合は、くるぶし突起部とその周辺にパッドを当てます。



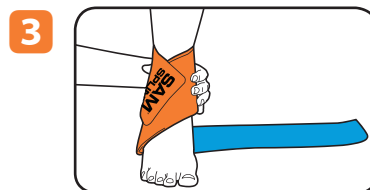
次に、スプリントの残り部分を、図3の部分を囲むように8の字になるようにしっかりと巻きます。



スプリントを平らに置き、その中央に傷病者のかかとを乗せます。

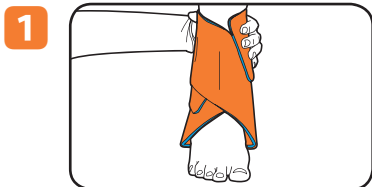


テープや包帯で固定します。

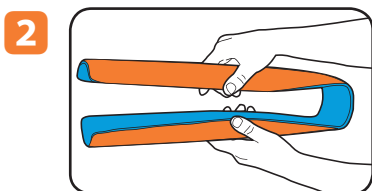


スプリントの半分を足首の周辺にしっかりと巻きます。

SAM1121 スタダード



8字型スプリントを
作ります。(参照:足首8字
型スプリント)



次に脚足スプリントを用意
します。(参照:足首)

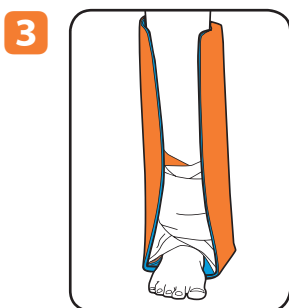
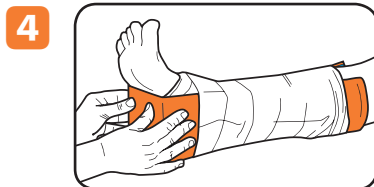
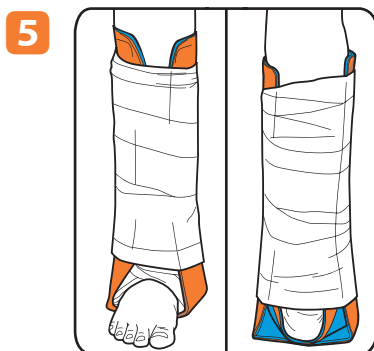


図1の8字型スプリントに
図2の脚足スプリントを
当てます。



テープもしくは包帯で
固定します。



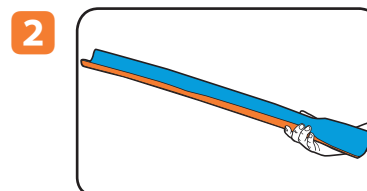
前部

後部

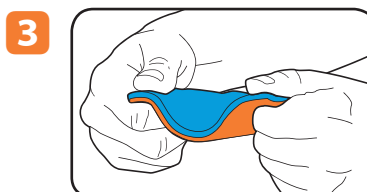
SAM1121 スタダード



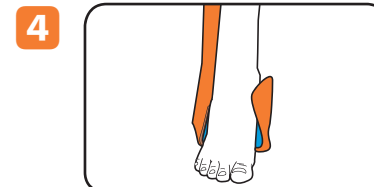
足首が露出している場合
は、くるぶし突起部とその
周辺にパッドを当てます。



スプリントの76cm程の箇
所にCカーブを作ります。残
りの16 cmの部分はそのま
まにして足首用にします。



更に強くする必要がある
場合はCカーブの先端を
逆Cカーブにします。



スプリントを脚の外側に
当て、図2の足首用スプリントを
足の下に回して折ります。



スプリントを
下肢に合せ
ます。

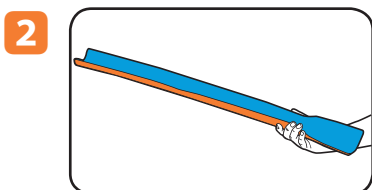


包帯で
固定します。

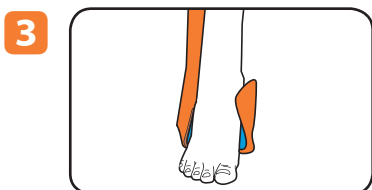
SAM1121 スタダード



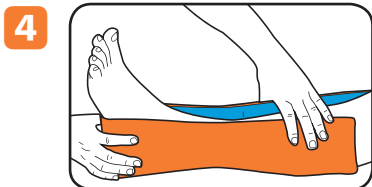
足首が露出している場合は、くるぶし突起部とその周辺にパッドを当てます。



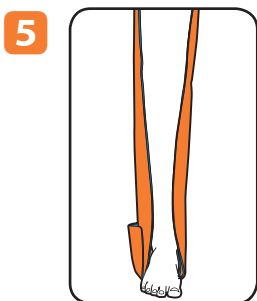
スプリントの76cm程の箇所にCカーブを作ります。残りの16cmの部分はそのままにして足首用にします。



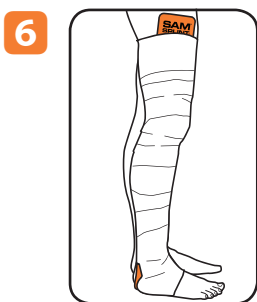
スプリントを脚の外側に当て、図2の足首用スプリントを足の下に回して折ります。



最初に作ったスプリントと同じものを用意します。



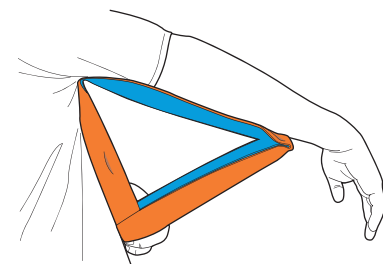
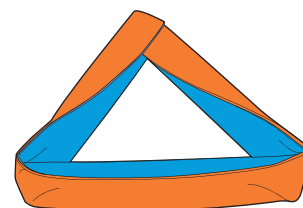
2つのスプリントを下肢を挟んで重ね合えます。



テープもしくは包帯で固定します。

SAM1121 スタダード

この脱臼の場合には、外転位(体から離れた位置)で支えるのが最も良いでしょう。図のように「三角形」に成形されたスプリントでサポートするのが最適です。「三角形」を作るには、スタダードスプリントを3等分(約30cmづつ)に折り成形します。

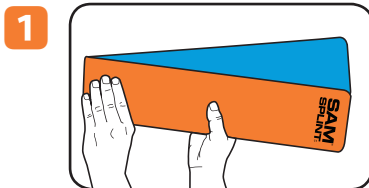


1 スプリントの中央部分は平らのままにしておいて、両端をそれぞれ図のように折りたたみます。折りたたんだ両端を合わせて三角形を作ります。底辺となった平らな部分を、丸みを帯びた緩やかなCカーブまたは半円に成形します。

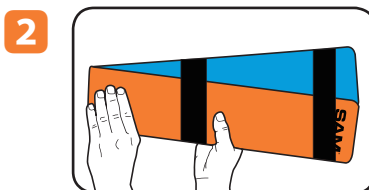
2 「三角形」を腋窩に置き、外転した腕を支えます。テープまたは包帯で固定します。

もっと丸みや穏やかなカーブを求めるならば、腕に合わせてスプリントを調整します。

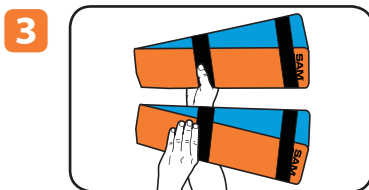
SAM1121 スタンダード



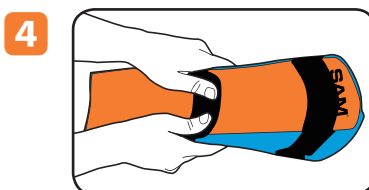
1 スプリントが扇形になるように2等分にして折ります。広い部分は大腿部用に、狭い部分はふくらはぎ用になります。



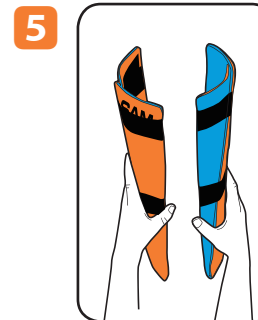
2 扇形を維持するためにスプリント上部と中央をテープで留めます。



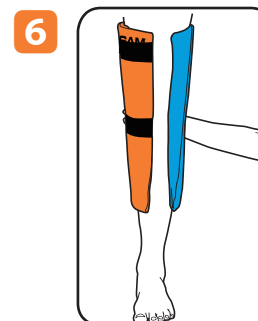
3 スプリントをもう一枚使用して、同じ扇形を作ります。



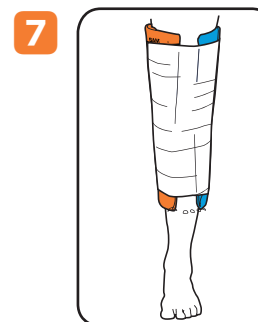
4 各スプリントにCカーブを作ります。



5 Cカーブをつけたスプリントを図の様に向かい合わせます。



6 膝の両側にスプリントを置き、フィットするように合わせます。



7 テープもしくは包帯で固定します。